

(えいたいきょう)
永代経法要とは。

▼▼法要に込められた願い ▲▲

お釈迦様の教え、親鸞聖人の教えが永代にわたり受け継がれ、広がることを願って勤まる春の法要です。

そして先立たれた、皆様の「縁の先祖諸仏が、仏様の御前に皆様を招く導き手となつて下さるのです。

その有縁の仏様の「法名を記帳した、永代供養法名台帳を」本尊前に「安置して勤まる法要が永代経法要です。

人間の生涯を全うされ、先立たれた「先祖諸仏を縁として、お釈迦様のお経があがり、仏法に触れて戴く機縁となります。

先立たれた「先祖は、いまだ人生を懸命に生きる私たちに、人として生きるうえで大切な教え(仏法)に出会って、かけがえのない「いのち」を生き抜いてほしいと願われています。

「甲う(とむらう)」とは、先立たれた方の死を通じて、残された者たちが、生きることに意義や喜び、いのちのつながりを「訪う(とむらう)」ていくことに他ならないのです。

そのことを仏法に訪ねていくことが「供養となるのです。

大切な方とお別れになられ、そこから始まる一人ひとりの新しい歩みの出発点として、是非この法要に毎年お参り下さい。



(えいたいきょう)
永代経法要をお勤めします!

▼▼法要の目的と特色 ▲▲

浄行寺の「永代経法要」とは、浄行寺に「縁の」門徒の中で、「逝去された方の」法名を、「ご希望により永代供養法名台帳に記帳すること」で、

- ①お寺による永続的(永代)な法要
 - ②家族や個人だけでなく、浄行寺に縁ある方々、みんなでお勤める法要
 - ③仏様の教え(お経)に触れられる法要
- という目的と方法をもって法要が行われます。



永代供養法名台帳を中心にご安置して法要を勤めます。



法名台帳記帳ご施主様方の焼香を頂きます。

万「ご家族のご事情で、法要が勤められなくなつても、この台帳に記帳されていれば、お寺で年に一回法要が開催され、多くの門信徒の皆様と共に参加する縁となります。

「本尊の前に「永代供養法名台帳」を「安置し、その年に「記帳された施主様、ご家族様にお焼香を頂き、仏教と私達の生活のつながりをお話しいただく法話も聴聞いたします。

永代供養法名台帳への「記帳は、令和元年五月から令和二年四月までにご逝去された「門徒方の法名を対象に、その施主様にお寺より別途「案内をさせて頂きます。

★年度外でも記帳ご希望の方は是非お問合せ下さい。

※コロナウイルス感染状況により法要中止や参拝者少数の場合でも、法名台帳を中心にした法要は行います。

**西多摩霊園
浄行寺共同墓地**



どなたでもご利用頂ける共同墓地です。永代供養型墓地として埋葬時のご懇志以外は管理費等は一切ございません。場所はあきる野市西多摩霊園・浄行寺墓地内にあります。年に4回墓前での勤行が行われます。

埋葬費用 遺骨1基 15万円～
ご利用ご希望の方はご連絡ください。

◆永代経法要の一日◆

* 午後一時 受付

本堂で受付を致します。本年度永代法名台帳に記帳される方は記念品をお引き換えください。

受付がお済みになりましたら、イスに座ってお待ち下さい。浄行寺護法会費や墓地管理費もお預かりして後日領収証をお送りします。

* 午後一時半 永代経法要

午後の法要ではお釈迦様のお経があがり、新たに永代供養法名台帳に「記帳を頂いた施主様より焼香を頂きます。蓮如上人の御文章拝読があります。

* 住職法話

引き続き住職より永代経法話があります。永代経の心や目的についてお話しします。

* 終了 午後二時三十分 予定



本来であれば長願寺、海法隆先生をお迎えし法話を頂く予定でしたが、諸般の事情により、ご出講は中止となりました。ご了承のほどお願い申し上げます。

